

5月のほけんだより

太陽の子保育園平成24年5月

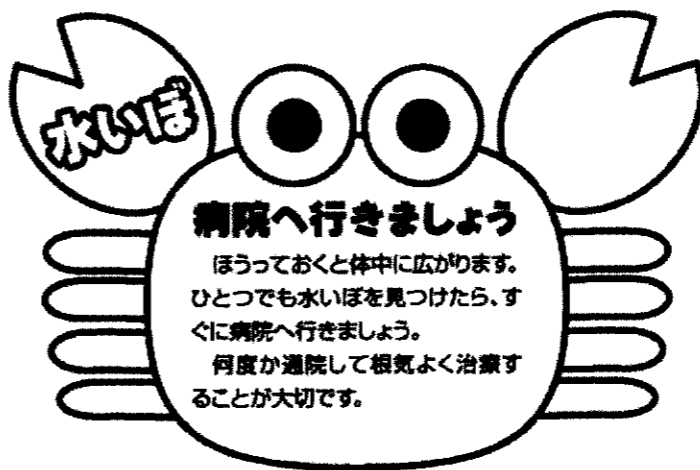
風薫る5月、新緑の美しい季節になりました。5月5日は「こどもの日」、そして「立夏」です。暦の上では、もう夏。晴れた日には、夏を思わせるようきになることもあります。

気温の変化や、体調管理に気をつけて、さわやかな季節を元気に楽しみましょう。

うつ伏せ寝はやめよう



うつ伏せ寝はあおむけ寝に比べて、乳幼児突然死症候群(SIDS)の発生率が高いようです。呼吸中枢の発達が未熟な乳児がうつ伏せ寝で寝た場合、深い眠りに入るなどが原因で、眠りからさめにくくなるためではないかと考えられています。医学上の理由でうつ伏せ寝を勧められている以外は、あおむけに寝かせましょう。



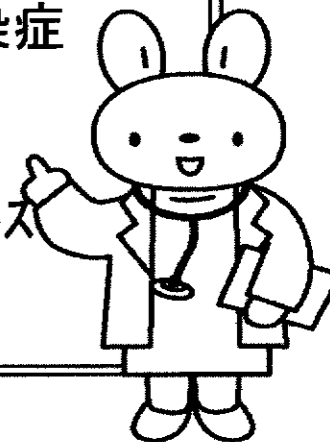
水いぼ

病院へ行きましょう

ほうっておくと体中に広がります。ひとつでも水いぼを見つけたら、すぐに病院へ行きましょう。

何度も通院して根気よく治療することが大切です。

4月の感染症
リンゴ病
...2名
アデノウイルス
...1名

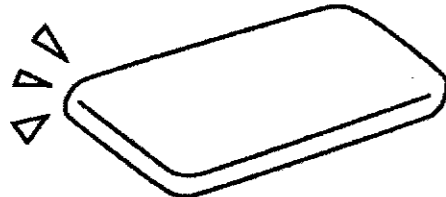


下痢などのときこそおしりを清潔に

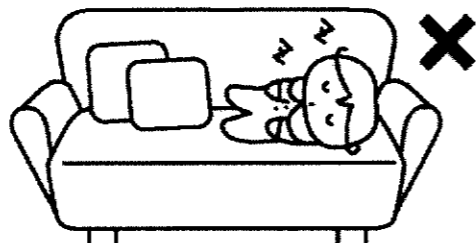
下痢のため、おしりはただれやすくなっています。オムツを交換するときは、おしりをお湯で洗い、軽くふきとります。交換後は必ず石けんで手を洗いましょう。

寝かせ方の配慮

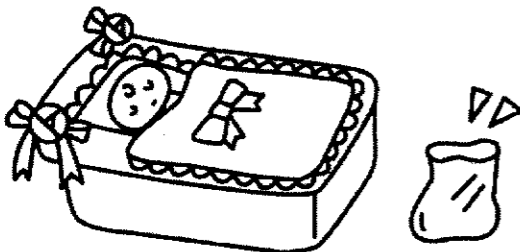
乳幼児突然死症候群を防ぐために...



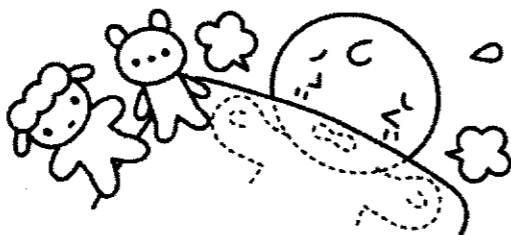
敷き布団はなるべく固いものを使用し、まくらは使わないようにしましょう。



日中の短い眠りでもソファで寝かせるのはやめましょう。



ベッドの周りにガーゼやビニールなどを置かないようにしましょう。



掛け布団やタオルなどが、顔にかからないようにしましょう。

おうちの方も気をつけて!!

海外型の風疹・はしかが急増

参考：2012年2月8日朝日新聞刊 国立感染症研究所ホームページ

◆風疹
30〜40歳代の男性は、定期接種を受けていないため、風疹の免疫を持つ人がほかの世代より少ないという特徴があります。
◆はしか(麻疹)
20〜30歳代の患者が増えています。重い合併症を起こすこともあります。
風疹・はしかは、妊婦が感染すると、胎児に深刻な影響を与える危険があります。予防接種を受けていない方や、海外への出張・旅行を予定されている方は、特に注意してください。

応急手当て SOS ② すり傷

基本の手当て

- ①水道の流水で、傷口をよく洗い、砂や土を取り除きます。
- ②血が出ているときは、清潔なハンカチやガーゼで、傷口をしっかりと押さえます(約5分間)。

ここがポイント

- ★こんなときは、病院へ
→洗っても、傷口の異物が取れないとき
→押さえていても出血が止まらないとき
→傷が赤く腫れたり、ズキズキ痛むとき

